

原案に賛成

あか けん じ
赤 嶺 謙 二



実施設計は、市民や議会の意見を十分に聞いた上で、その後発注をするとの市長の答弁。
約束に対する法的根拠はないが、本会議での答弁は重いものがある。
市長答弁を信頼し、原案に賛成。

修正案に賛成

あさ の ます み
浅 野 益 美



市長・執行部の考え方も分かるが、やはり順番は守っていかねばならない。実施設計予算を付けた後に市民への説明というのは避けてほしかった。
市民や議会の意見を聞き、十分議論をした後に協力したい。
そういった立場から、修正案に賛成。



修正動議提出

一般会計補正予算
庁舎整備費 5,450万円

緊迫した質疑、白熱した討論の末、賛成多数で修正案を可決

平 成22年第2回定例会は、6月11日から6月25日までの15日間の会期で開催されました。

豊後大野市一般会計補正予算(第1号)には、新庁舎建設に係る実施設計委託料として5450万円が計上されていました。

新 庁舎建設については、大分県建築士会三重支部が基本構想を策定し、現在、(株)日本設計九州支社が8月末を目標に、基本設計を策定している状況です。

「基本設計が出来上がっていない段階で、実施設計の予算を今定例会で計上しなければならぬのか。」などの質疑がありました。

《主な質疑》
・基本設計の説明を市民や議会にいつ行うのか。
・基本設計が出来上がらない段階で、実施設計委託料を算定できるのか。

・基本設計の工期が8月末であれば、9月補正や12月補正でも良いのでは。
・建築費を本庁舎27億円、消防署3億円、合わせて30億円以内を目標としているようだが、金額にこだわらず、50年以上先を見据えた新庁舎にするべきでは。

など、数多くの質疑があり、その後、2名の議員から新庁舎建設に係る実施設計委託料5450万円を除いた修正動議が提出されました。

討 論では、原案に賛成、修正案に賛成の両論があり、採決の結果、修正案が可決され、修正部分を除くその他の部分については、原案のとおり可決されました。